

## 平成二十八年度学位記・修了証書授与式

### 式辞

本日ここに学位記を授与された皆さん、修了証書を授与された皆さん、まことにおめでとうございます。また、今日まで学生の皆さんの勉学を支援してこられたご両親、ご家族の方々にも心からお祝いを申し上げます。また、ご多忙中にも関わらず、本日の式典にご臨席たまわりましたご来賓の皆様方にも厚くお礼申し上げます。

本学は創立以来百三十六年に亘り、「一般教養とともに、理学、薬学及び工学の原理及びその応用を教授研究し、人格高く、かつ、応用力に富む有為の人物を育成して、文化の進展に寄与すること」を目的として、多くの理工系人材を輩出してまいりました。卒業生の方々は優秀な研究者・技術者として企業や研究機関で活躍するほか、官公庁を始め各方面でも活躍されています。特に本学の教員養成は高い評価を受けており、中学校・高等学校など教育界での東京理科大学への信頼は絶大なものがあります。

皆さんも本日伝統ある本学を卒業し、これから社会に出て活

躍されるわけですが、必ずや、人類繁栄のため、わが国の発展のために貢献していただけるものと期待しております。特に、少子高齢化問題、経済のグローバル化、地球環境問題、エネルギー問題等、直面する課題は山積しています。皆さんが活躍されるこれからの十年、二十年は、先を見通すことが一層困難な状況になるかもしれません。皆さんが本学で身につけた専門知識、応用力を遺憾なく発揮し、日本はもちろん、世界の人類のために活躍してください。

本学の学位記・修了証書を手にしたということは、皆さんが本学伝統の「実力主義」の下で、それぞれの専門的知識を修得し、また多くの友人や教職員との触れあいの中で、人間的にも立派に成長したことを証明するものです。

これは皆さんの社会的信用を裏付ける一方で、皆さん自身も本学の卒業生としてその名に恥じない活躍をする責任を負ったことにもなります。どうか常に自らを高めるための努力をしつつ、自信と誇りを持って新しい人生に船出してください。

さて皆さんへはなむけの言葉を二つ贈りたいと思います。

一つ目は、皆さんよく御存知のイギリスの理論物理学者ステイブン・ホーキング博士の言葉です。

「人生はできることに集中することであり、

できないことを悔やむことではない。」

何か得意なことを選び、それに集中し、自分の納得のできる人生を築いてください。

もう一つが、論語で孔子が言っている言葉で、「自分の行動を反省しつつ、高めるように努力したいものだ」というものです。

「吾日に吾が身を三省す

人の為に謀りて忠ならざるか

朋友と交わりて信ならざるか

習わざるを伝えしか」

一日のうちで少なくとも三回は反省します、と孔子は言っています。第一には相談をされたときに十分にまごころをこめていなかったのではないか。第二には友達と付き合い合っていて裏切るようなことをしてしまったのではないか。第三には十分に理解していないことを伝えてしまったのではないか。

二千五百年前に書かれた論語を始めとする中国古典の魅力は、簡潔な表現でありながら、的確に人間や人生の真実に迫っていく名言の数々にあります。

「以心伝心」、「温故知新」、「大器晚成」、「四面楚歌」を始め、

中国古典に由来する四字句をよく使いますが、どの言葉もそれぞれ深い意味をもっていて、その由来を知ると感動することが多いものです。

社会は大きく変化していても、その底には、変化しない部分  
が厳として存在していることがわかります。変化の激しい時代  
だからこそ、なおさら原理原則に立ち返ってみる必要があると  
言えます。古今東西を問わず多くの優れた本や名言を常に勉強  
し、自らを高めてください。

本学は、本年創立百三十六年を迎えました。最新の教育研究  
設備と環境を整備した葛飾キャンパスは開設して四年が経過し  
ました。神楽坂キャンパスと野田キャンパスの整備も継続する  
とともに、教育・研究組織体制も大きく改善、充実してきてい  
ます。「日本の理科大から世界の理科大へ」を掲げ、国際競争力  
を強化し国際化を一層進める予定です。

皆さんの母校、東京理科大学は、良心を持った科学者、技術  
者を養成し、秀れた教育・研究を通して社会に貢献する大学と  
して、今後もますます評価を高める努力をしております。皆  
さんの社会での活躍と、本学の進化が相俟って本学のブランド  
力がさらに高まり、それが皆さんの更なる自信と誇りにつなが  
るといふ相乗効果を生み出していきたいと思えます。

どうか卒業後も折にふれて大学時代に思いを馳せ、母校の発  
展を温かく見守ってください。大学在学中に築いた交友関係は

一生の宝となるものです。本学では毎年秋に多くの同窓生を母校に迎えるホームカミングデーを開催していますが、昨年は一万五千名もの参加者がありました。今年は創立五十周年を迎える理工学部を中心に、野田キャンパスで十月二十九日に予定されています。ぜひこのホームカミングデーにも積極的に参加いただき、友人や恩師と旧交を温め、卒業生の絆を深める機会として利用してください。

再び論語から紹介します。孔子が次のように言っています。

「朋あり

遠方より来たる、

また楽しからずや。」

人間の活力の源泉は心身ともに健康であることにあります。

健康を保つためには、折に触れて心身の休養をとるすべを心得ることが重要です。最後に、健康には十分留意されることをお祈りして、卒業、修了のお祝いの挨拶といたします。

平成二十九年三月十八日

東京理科大学長 藤嶋 昭